

審判上の注意

本大会は、2025 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制バレーボール競技規則で行う。

＊ネットは男子 2.30m。女子は 2.15m で行う（新人大大会のみ、男子 2.25m。女子は 2.10m とする）。

＊1st レフェリー、2nd レフェリーは、電子ホイッスルを使用してもよい。

ただし、複数コートで同時に試合を行う場合は、電子ホイッスルは不可とする。

【プロトコールについて】

- トスの際に監督とチームキャプテンは、記録用紙にサインを行う。監督はリベロプレイヤーの番号を記録用紙に明記する。
- 公式練習中、コートで練習する権利のないチームによるボールの使用は、権利のあるチームの練習と審判員の業務を妨げない範囲で行えるものとする。会場の広さによって審判員からコントロールされる場合がある。なお、チームベンチや記録席の後方はフリーゾーン外のため、公式練習中は一切使用することができない。

【競技参加者の行為について】

- 競技参加者（チームスタッフを含む）は、レフェリーや役員、相手チーム、チームメイト、観衆に対してフェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 1st レフェリーが最終判定を出した後もレフェリーに不満を示す態度や言葉を発した場合。② ネット越しに相手の選手などに対してガッツポーズなどの牽制する行為などがあった場合。 |
|---|

これらの行為は警告の対象となる。

- 監督、コーチ、マネージャーは統一された服装であること（マネージャーが生徒の場合をのぞく）。
- 監督は試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で立ち歩きながらでも指示を出すことができる。
なお、監督がベンチに着席する場合は、記録席に最も近いベンチに着席しなければならない。

【タイムアウトについて】

- タイムアウトは、審判員が分かるようにハンドシグナルをはっきり示して監督が要求する。
- タイムアウトに入ったら選手はコートを離れなければならないが、30 秒を待たずにコートに戻ってもよい。
ただし、タイムアウトが 30 秒より短くなることはない。
- 給水のためのタイムアウト中、選手はウォームアップエリアで給水することができる。チームスタッフはベンチに着席しなければならない。また、戦術的な指示を出すことはできない。（第 3 セットは、チェンジコートをした後に、給水のためのタイムアウトとなる）

【ベンチへの持ち込み物について】

- 荷物はプレー中の選手に危険が及ばない位置に置く。特にボールかごやドリンク類はウォームアップエリアに移動させる。
- 試合進行に関わりのないもの（ダルマ、マスコット人形、応援グッズなど）や電子機器の持ち込みを禁ずる。
- 作戦に関するものは、以下の基準に当てはまるものは持ち込みが許可される。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① チームスタッフが常時携帯でき、速やかに危機回避ができること② 素材が安全なもの（紙、プラスチック）③ 大きさは、使用時の最大サイズが A3 版以内であること |
|--|

- うちわは、「給水のためのタイムアウト」が採用されている場合のみ、持ち込みが許可される。
使用は、セット間、タイムアウト中、給水のためのタイムアウト中のみとする。